

## 【教育実習 I（事前指導）の授業でのマイクロティーチング における球技の指導】に対するご協力のお願い

研究責任者	中京大学スポーツ科学部・教授	國土将平
研究実施者	中京大学大学院スポーツ科学研究科・院生 中京大学・体育研究所・研究員	横井みやび 小磯 透

このたび本学では、2021年4月1日より2024年3月31日までの間に教職課程（保健体育科）履修者で上記「教育実習 I」の授業を履修した学生の、web 調査データ（MaNaBo 上の球技の指導の振り返り）を用いた人を対象とする研究を、スポーツ科学研究科倫理審査委員会の承認ならびに学長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、履修したみなさんへの新たな負担は一切ありません。また、プライバシー保護については最善を尽くします。

授業内の模擬授業やマイクロティーチングなどの振り返りのために回答した web 調査データを研究利用することに授業の中で説明し、同意してもらいました。このことを改めて考え直して、本研究への協力を望まれない方は、卒業年度、在学生の場合は学年、氏名ならびに同意できない旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。なお、同意の有無が教育実習 I の成績に影響することはありません。

### 1 対象となる方

【選択基準】西暦 2021 年 4 月 1 日より 2024 年 3 月 31 日までの間に教育実習 I を履修した者で、体育実技の指導（球技）のマイクロティーチングを実施し、「球技の指導の振り返り」を記入した学生。

【除外基準】「球技の指導の振り返り」の資料を研究利用として認めなかった者。

### 2 研究課題名

承認番号 中京研倫第 2023-037 号

研究課題名 教育実習 I（事前指導）の授業でのマイクロティーチングにおける球技の指導

### 3 研究実施機関

中京大学スポーツ科学部（豊田キャンパス 14 号館 2 階 206 室、4 階 406 室 3）

## 4 本研究の意義、目的、方法

### ○研究の背景

高橋（1992,2010）は、よい体育授業は「基礎的条件」、「内容的条件」の2つの条件が整ったところで成立すると示している。それらを実現させるために、教職課程履修者は、実践的指導力向上のために模擬授業を実施する。模擬授業実施方法の1つであるマイクロティーチングは、通常の授業より、少人数（5～8名）、短時間（5～20分）、で授業（マイクロレッスン）を実施し、ねらいを絞って練習することができる。また、即時にフィードバックができるスタンフォード大学で開発された実施方法である（家田,1993；Dwight & Arthur,1968）。体育の実技、特に球技の指導においては、わずか5分間のマイクロティーチングによる学生の実践指導力の向上については明らかではない。従って、本研究ではマイクロティーチング後の省察の記述より、マイクロティーチングの実践によりどのような学習効果が得られたかを明らかにすることを目的とする。

### 〈引用・参考文献〉

家田重晴（1993） 授業の評価と研究，家田重晴（編著），保健科教育，杏林書院，p.112.

高橋健夫（1992） 体育授業研究法の方法に関する論議，スポーツ教育学研究 特別号，p.29.

高橋健夫（2010） よい体育授業の条件，高橋健夫・岡出美則・友添秀則・岩田靖（編著），新版 体育科教育学入門，大修館書店，p.49.

Dwight W. Allen & Arthur W. Eve（1968） Microteaching, Theory Into Practice, Vol.7, No.5, pp.181-182.

### ○研究の学術的・社会的な意義

球技の指導を上達させるために5分間といった短期間のマイクロティーチングの効果を外様々な観点から明らかにすることができる。また、保健体育科の教職課程履修者の意欲を高めることにつながる。

### ○研究方法の全体像

本研究は、既存のデータのみを使用し、新たに研究対象者からデータを取得しない研究である。体育学部及びスポーツ科学部（科目等履修生含む）所属の教職課程内の教育実習Ⅰ（事前指導）の履修者で、体育実技の指導（球技）のマイクロティーチングを実施し、講義後に「球技の指導の振り返り」を記入した学生の回答を集計・分析する。

## 5 協力をお願いする内容

授業履修時に記入したweb調査データ（MaNaBo上の球技の指導の振り返り）を使用します。以下のような質問が含まれていました。

1. マイクロティーチングの指導案を作成する際、どの校種を想定しましたか。
2. 設問1の校種のどの学年を想定しましたか。
3. 対象とした児童・生徒の性別を想定しましたか。
4. マイクロティーチングを行った種目を回答して下さい。複数の種目で行った場合は1つ選択して下さい。

5. マイクロティーチングで行った種目での学習内容(題材)を簡潔に記述して下さい。
6. 指導案の作成上、自分自身が一番工夫したことは何ですか？
7. 教師役を行う時、自分自身が一番心掛けたことは何ですか？
8. 教師役を行って、一番難しかったことは何ですか？
9. 教師役後、生徒役の学生から自分自身に一番指摘が多かった良かった点は何ですか？
10. 教師役後、生徒役の学生から自分自身に一番指摘が多かった改善点は何ですか？
11. 教師役後、一番得たものは何ですか？
12. 生徒役後、一番得たものは何ですか？
13. マイクロティーチングを通して、自分自身の自信になったものを一つあげるとしたら、何ですか？
14. マイクロティーチングを通して、自分自身に足りないものを一つあげるとしたら、何ですか？
15. 教師役後、自分自身の指導案に一番足りないものがあつたとしたら、それは何ですか？
16. マイクロティーチングの体験を、今後どのように活かしたいと思いますか？
17. マイクロティーチングを実施して良かったと思いましたが？思いませんでしたか？
18. あなたの所属学科を回答して下さい。
19. あなたの性別を回答して下さい。
20. あなたは部活、サークルに所属していますか。所属していれば「部活」、「サークル」どちらに所属しているか回答し、競技名も回答して下さい。所属していなければ「所属していない」と記述して下さい。
21. マイクロティーチングを行って、時間配分はうまくできましたか。
22. マイクロティーチングを行うとき、時間配分をうまくするために、どうすればよいと思いますか。

## 6 本研究の実施期間

倫理審査承認後～2025年3月31日

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究では個人情報(氏名、学籍番号)はオプトアウトに限り利用します。
- 2) 本研究で取り扱うみなさんのweb調査データは、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) みなさんの個人情報と、匿名化したweb調査データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の研究責任者と研究実施者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は本学のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究責任者 国土 将平  
Email: kokudo@sass.chukyo-u.ac.jp